

共生・協働のむらづくり通信

創刊号



祝 平成19年度 全国農林水産祭

～むらづくり部門～ 農林水産大臣賞受賞

平成19年10月5日、農林水産祭むらづくり部門九州農政局表彰式及び実績発表会が開催されました。本県代表の屋久島町原区は、見事「農林水産大臣賞」を受賞しました。

原区の主な取組としては、「共に譲り合い 笑顔でつくる むらづくり」をスローガンに「げじべえの里」（直売所）を活かした地域づくりや、ポンカンやタンカンの通信販売への取組、農家、非農家を交えた活発な話し合い活動を通じ、地区の将来像を見据え確実に実践している点等が評価されました。



Contents

- ・屋久島町原区 農林水産大臣賞受賞の様子
- ・共生・協働の農村づくり運動の紹介
- ・むらづくり支援事業について
- ・むらづくり応援隊について
- ・むらづくり通信員について
- ・むらづくり情報
- ・グリーン・ツーリズムの紹介

鹿児島県農政部

鹿児島県 共生・協働の農村づくり運動推進協議会

共生・協働の農村づくり運動

～人と自然と地域が支え合う みんなで創る農村社会～

「新・農村振興運動」に「共生・協働」という考え方も取り入れ、平成19年度から「共生・協働の農村づくり運動」が新たにスタートしました！

農村が農業者などの地域住民にとって、「ゆとり」と「やすらぎ」を実感できる生活空間となるとともに、都市住民に対して魅力あるライフスタイルを提供する場となるよう、すべての人々が、多彩で豊かな自然や伝統文化などを再認識し、世代、性別、地域、価値観などの違いを超え、共に支え合い、共に築くむらづくり

● 共生・協働のむらづくり対象集落のイメージ

「むらのかたち」＝それぞれの地域の実態に応じたむらの目標や将来像を示したもの。

1. 農村集落の再生 ～「むらのかたち」の作成等～

推進体制の見直し

「むらのかたち」の作成

農村集落内の住民・組織間等の連携



自然は景が美しい所なのに過疎化が進んで、これから先を考えると不安だ～



むらづくり委員会

話し合いをしてもなかなかまとまらないし…



「むらのかたち」の作成

けっこういい所があったんだ



むらづくりの実践活動

酒造を中心として豊かな自然をみんなが体験できるむらになったわ

2. 新たなむらづくりの形成 ～NPO法人等との連携等～

NPO法人等との連携

都市と農村の交流活動

U-I-Jターン者の定住促進



そば屋のオーナー帰郷を促してから…



焼き立て、打ち立て、茹で立てのそば祭りを実施して、お祭りにはお客さんもいっぱい来てくれるけど、その後は……



むらづくり応援隊(NPO法人等)の支援



地域特産品のブランド化

そばをブランド化して販売しよう！ネットでも販売もいけますね

3. むらづくりの維持・発展 ～農村環境の保全、地域資源の発掘・活用等～

農村環境の保全

地域資源の発掘・活用



むらの小川の周辺は草だらけで荒れ果てていました。



そこで地域の住民に呼びかけ、力を合わせ草払いを行いました。(農村環境の保全)



すると豊畝の中から、「田の神さま」が現れました。(地域資源の発掘)



祭りをしたことで「田の神さま」を囲んで、祭りを行いました。

こんなところから「田の神さま」が出た！

祭りをしたことで「田の神さま」を囲んで、祭りを行いました。

共生・協働のむらづくり支援事業について

県では平成19年度から過疎・高齢化や混住化等の農村集落の実態を踏まえ、その集落が抱える課題の解決と活性化を図るための、新たな取組や既存活動の向上・拡充を図る活動の提案を募集・選定し、共生・協働のむらづくりの取組を支援しています。

平成20年度も活動の提案を募集しますので、応募を希望される場合は、最寄りの市町村、県地域振興局・支庁農林水産部農政普及課へお問い合わせください。

	むらづくり委員会名	市町村名	2カ年の共生・協働のむらづくりの取組のテーマ (H19~20)
1	吉利中区むらづくり推進委員会	日置市	「歴史と文化に満ちた美しくうまいのある農村づくり」
2	高田むらづくり委員会	南九州市	「みんなが主役の「夢の里 たかた」づくり」
3	草道むらづくり委員会	薩摩川内市	「地域のあらゆる資源を生かし、行動力で作る、誇りと安らぎのある農村(むら)」
4	久富木区活性化推進委員会	さつま町	「人間性の向上・地域性の向上・経済性の向上」
5	二渡地区むらづくり推進委員会	さつま町	「ふかそう風、おこそう二渡、みんなの力で『二渡新田と川に結ばれた、汗を流し、自然と人に優しく、個性豊かなすみよいむら』」
6	中津川地区むらづくり委員会	さつま町	「にぎやかな50年前の金吾様踊りの復活」
7	穂之浦西地区むらづくり委員会	阿久根市	「地域の豊かな資源を生かした活力ある農村(むら)づくり」
8	川添地区むらづくり推進委員会	湧水町	「地域内組織の連携強化と地域の資源を活かし住民参加による地域活性化を図る」
9	田中地区むらづくり推進委員会	姶良町	「田中上集落営農組合の設立で地域の風習・風土を守る」
10	柳谷町内会	鹿屋市	「空屋・遊休地・土づくり対策、リーダー養成」
11	鶴木地区むらづくり委員会	曾於市	「集落住民の住みやすい『やすらぎの里』づくり」
12	壱永地区公民館	南種子町	「赤米の里」壱永における今後の公民館運営と農業展望
13	和むらづくり委員会	和泊町	「字内組織の連携強化による活動の活性化」
14	手々知名むらづくり委員会	和泊町	「歴史に学ぶ元気な『吾館(あかたじ)』」

むらづくり応援隊について

県では、農村集落(むらづくり委員会)を対象に地域内外の多様な主体が連携した共生・協働のむらづくりを推進するため、県内のむらづくり実践集落のリーダーやNPO法人等の関係機関団体の中から、共生・協働の農村づくり運動への積極的な理解と協力が得られる方を「むらづくり応援隊」として登録し、地域の要請に応じて派遣しています。応援隊の派遣を要請される場合は、最寄りの市町村、県地域振興局・支庁農林水産部農政普及課へお問い合わせください。

むらづくり応援隊 (23団体)		平成20年2月12日現在	* 順不同 敬称略
NPO法人 桜島ミュージアム	NPO法人 エコ・リンク・アソシエーション	新現役の会 (霧島支部)	
NPO法人 文化芸術支援NPOPandA	NPO法人 NPO南さつま	NPO法人 ローズリングかのや	
NPO法人 まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会	花渡川人の会 坊津やまびこ会	大隅の國やっつく松山藩 ねじめサミット (根占町商工会)	
鹿児島県土地改良事業団体連合会	NPO法人 NPOいずみ	NPO法人 環境福祉サービス	
鹿児島大学生涯学習教育研究センター	NPO法人 さわやか出水女性の集い	NPO法人 ジュントス	
鹿児島まちの駅連絡協議会	NPO法人 霧島食育研究会	NPO法人 チャレンジドサポート奄美	
特定非営利活動法人NPOさつま	NPO法人 くすの木自然館	NPO法人 ディ!	

むらづくり応援隊 (個人31名)		平成20年2月12日現在	* 順不同 敬称略
鹿児島地域	石窪 奈穂美、大原 タツ子、大山 辰夫、川畑 英一		
南薩地域	大園 秀巳、末永 俊浩、東馬場 伸、新原 達児、水溜 政典		
北薩地域	大迫 政喜、久留須 俊彦、小城 年久、小牧 明、竹崎 キヨ子、濱田 孝一、徳田 勝章		
姶良・伊佐地域	石田尾 博夫、高橋 亮志、中村 周二、東麻生原 勉		
大隅地域	伊野 幸二、今福 隆男、川添 義一、川前 康博、豊重 哲郎、福留 勉、前田 清輝		
熊毛地域	櫻元 一巳、黒木 農夫太郎		
大島地域	速水 治美、薩 才良		

むらづくり通信員について

むらづくり通信員の登録の目的

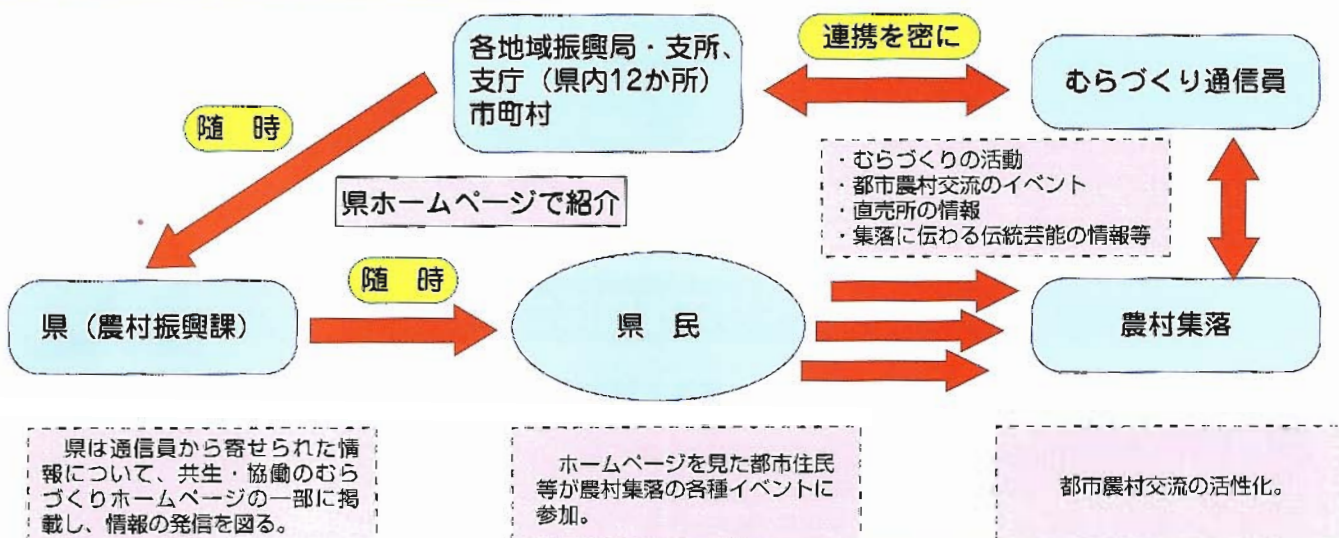
「共生・協働の農村づくり運動」の円滑な推進を図るために、農村集落等が主体となって取り組む活動等の情報を多く収集するため、「むらづくり通信員」を登録しています。

むらづくり通信員の状況と情報の扱い

平成20年2月12日現在、県内各地に49名のむらづくり通信員を登録しており、70件の情報の提供を頂きホームページにおいて情報の発信を行っております。

共生・協働のむらづくりホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/nogyo/noson/mura/index.html>

情報の収集・発信のフロー図



これまで情報を頂いた通信員等の紹介（第1回）



有川 恵さん
むらづくり通信員
熊毛地域

ひとこと
地域との出会い、ふれあいを大切にしながら、情報発信を続けていきたいと思っています。



野村 臣朗さん
むらづくり通信員
出水地域

ひとこと
「限界集落」という言葉も出現している中、農村文化の伝承や伝統的諸行事などの灯が消え失せないか不安である。地域の活性化はそこに住む人達の「気」をどう動かすかにかかっている。みんなの知恵を集結し住みよい環境と潤いのある地域へ進展させていきたい。



森山 孝子さん
大口市役所
大口市

ひとこと
集落の活動・伝統行事の情報を収集しながら発信。毎月の通信は新聞をつくり集落に送付しています。今後も楽しく新聞発行を続けることで、元気な集落の情報発信を続けます。

むらづくり通信員の募集

むらづくり通信員（ボランティア）の募集・登録は随時行っております。あなたも、むらづくり通信員に登録し、むらづくり情報の発信を行い、居住地周辺のむらづくり活動をPRしてみたいはいかがでしょうか？登録を希望される方は最寄りの市町村、県地域振興局・支庁農林水産部農政普及課へお問い合わせください。

むらづくり課題解決研修会（三島村黒島大里地区）

三島村（鹿児島地域）

平成19年10月25日、「共生・協働のむらづくり（話し合い活動の促進）」「地産地消（地域にある資源（人、資源、自然、文化等）の積極的な活用）」「食農教育」の推進を目的とした「三島村黒島大里地区むらづくり課題解決研修会」が開催されました。「かごしまの“食”推進員」等を講師に招き、大里小中学校の児童・生徒、地域婦人会等あわせて約40人を対象に、手打ちそば作りの実演講習を行いました。また、併せて島民交流会が開催され、みんなで作った手打ちそばや大里婦人会が準備した地域食材を活用した料理を味わいました。



手打ちそばの実演講習

高山ふるさと秋まつり（日置市東市来高山地区）

濱崎 満洋 通信員（日置地域）



餅まきの様子

平成19年11月25日、日置市の高山地区で第6回高山ふるさと秋まつりが開催されました。高山地区にある6つの自治会が協力し、地域の活性化や都市農村交流をテーマに秋の農村を満喫できるイベントです。

5つのコースに分かれマス釣り大会、餅まき（田の神祭り）、竹炭づくり、かずら工芸、餅つき体験など各自治会が趣向をこらした様々な催しを実施しました。来訪者には、毎年参加される人もいます。

南方神社例大祭（枕崎市山下水流地区、東鹿籠地区）

今門 求 通信員（南薩地域）

平成19年10月28日、枕崎市の南方神社と妙見神社にて郷土芸能（山下水流地区太鼓、東鹿籠地区太鼓踊、山口地区棒踊）が奉納されました。

太鼓踊りの由来は、約400年前の慶長（1596～1614）の初め、薩摩藩主島津義弘公が度々の出陣に兵の士気を鼓舞するために踊らせたものと言われられています。



太鼓踊りの様子

棚田で餅つき大会（指宿市池田新永吉地区）

指宿市（指宿地域）

平成19年11月3日、指宿市池田の新永吉地区の棚田で、約70名（大人約40名、子供約30名）が参加して、餅つき大会が開催されました。

地元の池田幼稚園と池田小学校の児童を招待し、地域の方々の指導のもと、もち米を蒸すところから始め、紅白の餅約100名分ができあがりました。つきたての餅や新米のおにぎり、池田湖で捕れたわかさぎの天ぷらやがね等を囲んでの交流会を行いました。



餅つきの様子



餅をこねる様子



交流会の様子

むらづくり情報

「川内川やな漁体験」 (さつま町^{みたわたり}二渡地区)

高嶺 旭 通信員 (川薩地域)

平成19年10月27日、さつま町の川内川において、さつま町グリーン・ツーリズム研究会と二渡地区公民館(むらづくり委員会)の共催により、地元漁師さんの協力を得て川内川「やな漁体験」が実施されました。当日は、町内外から18名、地元保育園25名(保育士、保護者含む)が参加し、落ち鮎のやな漁やゴムボートに乗り川内川の遊覧体験を行い、昼食には、とれたての鮎の塩焼きや山太郎ガニ、鯉こく等を堪能しました。



やな漁の体験

「かかし祭り」 (出水市^{の だちょうあき}野田町青木地区)

野付 臣朗 通信員 (出水地区)



出水市野田町青木地区で、地区内の異年齢層の交流や水田の風物詩である「かかしのある風景」の復活を願って「かかし祭り(地区むらづくり推進協議会主催)」が開催されました。

出展された「かかし」は平成19年9月9日～9月24日までの間、直売所「青木の茶屋」から野田川に架かる小山田橋までの農道沿いに展示され、様々なかかし達で沿道をかざりました。

「五穀豊穰願成就豊年祭」 (始良町^{きたやまし}北山下地区)

柳川 正登 通信員 (始良地域)

平成19年11月25日、本年の豊作を感謝するとともに地区民の融和を図るため、これまで行ってきた「豊年祭」と「運動会」を一体化した「第1回五穀豊穰願成就豊年祭」が開催され、地域の役員が「しめ縄(4m×2本、2m×1本)」を奉納しました。

その後、地区住民の融和を図るためにレクリエーションが行われ、約100人が参加しました。

地区外に居住している家族等も来訪し、楽しい時間を過ごすことができました。



五穀豊穰願成就豊年祭の様子

「農作業体験交流」 (大口市^{ひらいずみ}平出水地区)

大口市 (伊佐地域)

平成19年6月に平出水地区では、毎年恒例の農作業体験交流(地区稲作振興会主催)が開催されました。鹿児島市内の参加者約100人と地域(子供を含む)約100人の参加で田植え・サツマイモの植付けが、会員の指導や地元のむらづくり委員会の協力のもと行われました。

平成19年10月27日には、地元内外から約200人(小学生を含む)の参加により収穫体験を実施しました。昼食には地元女性により新米のおにぎり・豚汁・がね(収穫した芋を使用)・つけもの等が振る舞われ、参加者には好評でした。



田植え



サツマイモ収穫

「上之園太鼓踊りの奉納」(南大隅町佐多伊座敷)

木之下 幸子 通信員 (肝付地域)

平成19年8月25日、南大隅町伊座敷上之園集落の稲牟礼神社において上之園太鼓踊り(通称ズッカン)が行われました。

この太鼓踊りは、島津氏の琉球出兵の際の凱旋祝いに踊られたのが始まりといわれています。旧暦の6月15日の祇園祭に農作物の豊作を祈って踊られており、雨乞い踊りとしても踊られています。

今年、南大隅町の無形民俗文化財の指定を受け、地元住民を含め約200人が出席して踊りが奉納されました。



上之園太鼓踊りの様子

「満開のコスモス」(志布志市有明町野井倉地区)

加世田 和彦 通信員 (曾於地域)



コスモスの前で記念撮影

平成18年度に、水と里サークル活動(農地・水・環境保全向上対策)の実施団体として結成された「野井倉南部保全協議会」が9月にコスモスの種をまきました。

平成19年11月下旬には、野井倉地区を南北に貫通する幹線道路沿いは、延長1,800m、面積約8haに渡り、コスモスが満開になり、週末には市内外から多くの花愛好家が訪れました。協議会では、来年度以降もこの取組を続け、地域の名所にしたいとはりきっています。

「屋久島愛子まつり」(屋久島町小瀬田地区)

有川 恵 通信員 (熊毛地域)

平成19年11月25日、屋久島町小瀬田地区で第6回つわぶきの里「屋久島愛子まつり」が開催されました。

開会式に引き続いて「あいこ市」が開催され、地元産の生鮮野菜や手作り団子類、直径1mの大鍋に野菜と豚肉を煮込んだあいこ汁等が販売されました。

野菜や団子類は1時間程度で売り切れになるほど好評でした。

特設ステージでは、地区の小学生による合唱や、三味線等が披露されました。



「あいこ市」の様子

「空港にえらぶゆりの植栽」(和泊町国頭地区)

大吉 聡美 通信員 (大島地域)

平成19年11月26日、沖永良部空港にて国頭小学校5・6年生の児童と空港関係者が「えらぶゆり」の球根8,000球の植栽を行いました。

平成20年4月には「フラワー都市交流連絡協議会」の総会が開催されることもあり、花の町(和泊町)では、例年以上に花いっぱい運動が展開されます。



滑走路の脇に球根の植栽



滑走路で記念撮影

かごしまのグリーン・ツーリズム

修学旅行で民泊（日置市）

平成19年10月14日から16日の3日間、埼玉県立和光国際高等学校の2年生3クラス117人が日置市を訪れ、2～3人ずつ59世帯の農家等で民泊を体験しました。

みかんの収穫体験や江口海岸での地引網体験等、受け入れ先ごとに設定された様々な農業・漁業体験を行いました。2日目の交流会では、地域の田舎料理を楽しみながら、それぞれが感想を述べ合い交流を深め、いい思い出になったようです。



みかんの収穫体験



地引網体験



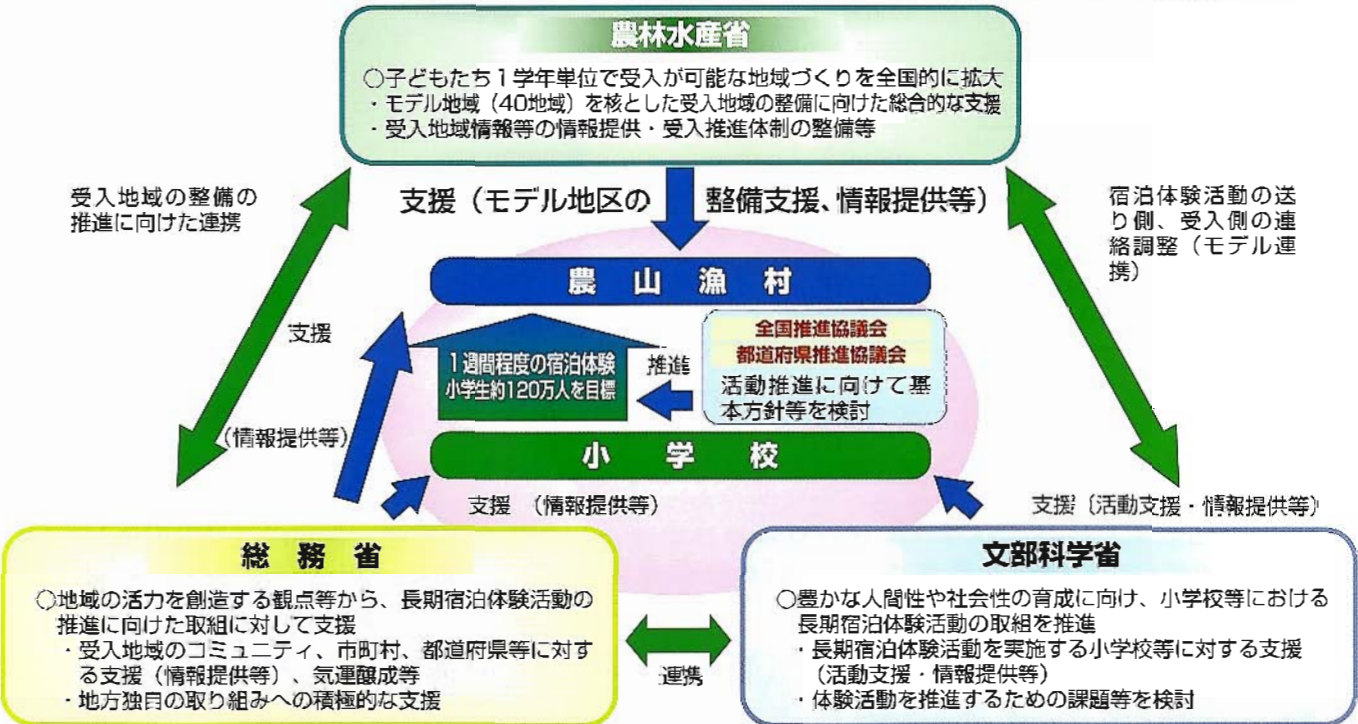
米の収穫体験

子ども農山漁村交流プロジェクトがはじまります（平成20年度～）

このプロジェクトは、学ぶ意欲や自立心、思いやりの心、規範意識などを育み、力強い子どもの成長を支える教育活動として、農林水産省、文部科学省、総務省が連携し、小学校における農山漁村での長期（1週間程度）宿泊体験を推進するものです。

子ども農山漁村交流プロジェクト

～120万人・自然の中での体験活動の推進～



むらづくり通信

編集・発行：鹿児島県農政部農村振興課

〒890-8577：鹿児島県鹿児島市鴨池新町10-1

<http://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/nogyo/noson/mura/index.html>

TEL: (099) 286-2111 (内線3109)